

(仮称) 水際線まちづくりコンセプトプラン (素案)

～概要版～



市民意見募集を実施します！

令和7年12月17日(水) ～ 令和8年1月26日(月)



↑ 本編・意見提出は
こちらから (市HP)



令和7年12月
横浜市

- ・水際線において、居心地が良く歩きたくなる歩行者空間の創出や、道路・公園等の公共空間を活用したにぎわいづくりなどを一体的に行い、都心臨海部の魅力を高めるまちづくりを進めるため、整備の方向性等をまとめたコンセプトプランを策定していきます。



「世界に誇れる水際線」

多くの人や企業を惹きつける都心臨海部に発展させていくために、水際線のまちづくりで目指すべき姿を「世界に誇れる水際線」とします。「出かけたくなる」、「横浜のファンになる」、「世界が注目する」という3つのまちの姿の達成により実現していきます。

【目標年度：2029年度まで】



Photo：（一社）横浜みなとみらい21

①出かけたくなる

TRIGGER

訪れた人々が横浜でしかできない体験を楽しみ、誰かに伝えたいような水際線にしていきます。

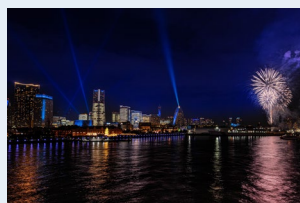


©CENTRAL MUSIC & ENTERTAINMENT FESTIVAL 2025

②横浜のファンになる

ORIGINALITY and HOSPITALITY

独自の魅力をさらに磨き、来街者にまた訪れたいと感じてもらえるホスピタリティあふれる水際線にしていきます。

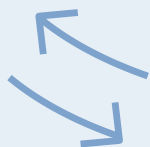


Photo：（一社）横浜みなとみらい21

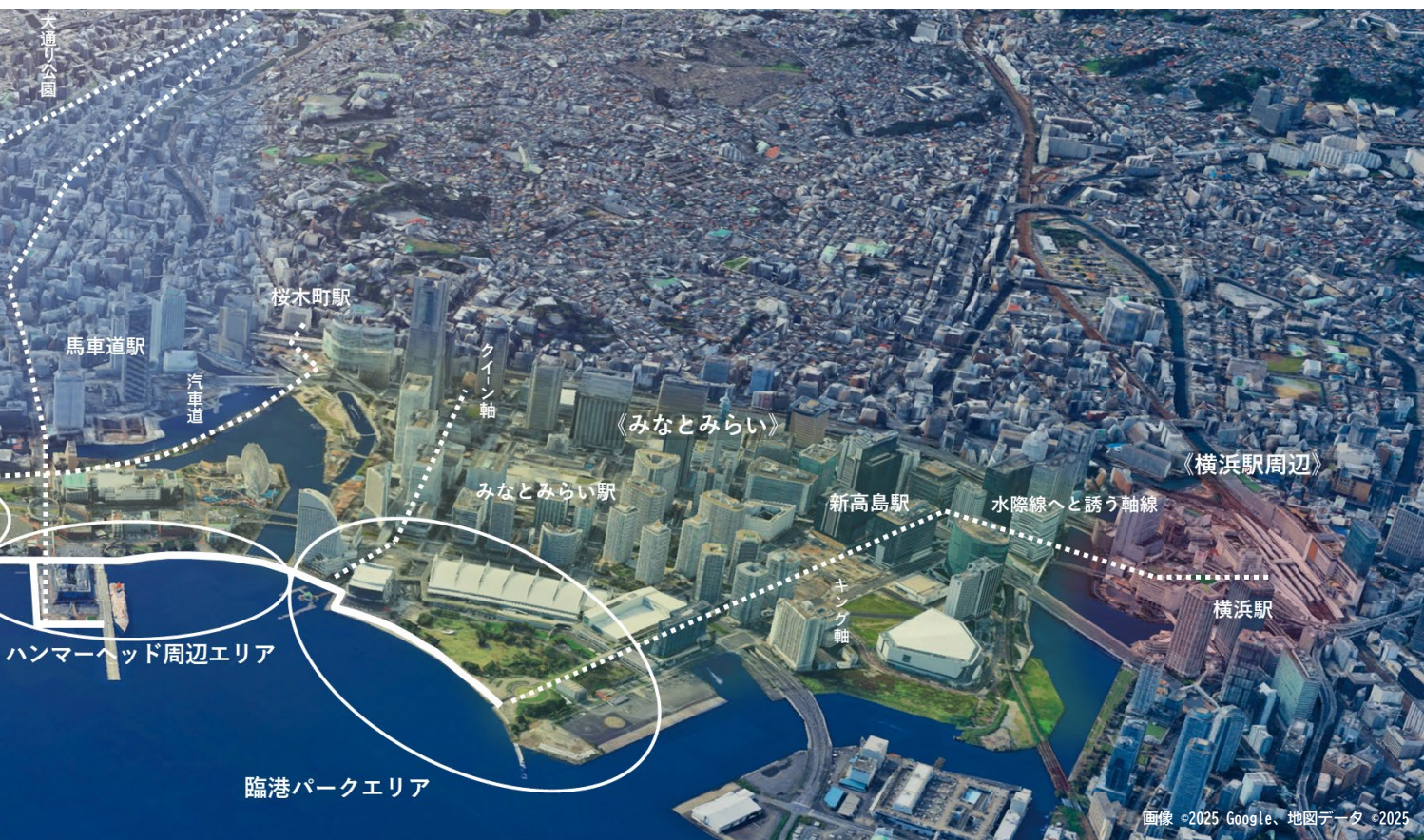
③世界が注目する

BRANDING

一目見て「YOKOHAMA」と分かる圧倒的な水際線の景観をブランディングし、発信していきます。



- ・本プランでは、臨港パークから山下公園に至る約5kmの水際線と横浜駅周辺やみなとみらい、関内・関外などの各地区、水際線と主要な鉄道駅等をつなぐ軸線【キング軸、クイーン軸、にぎわいと緑の軸線（日本大通り、みなと大通り、大通り公園）など】を対象としています。



3 まちづくりの進め方

目指す姿の実現に向けて、「点の磨き上げ・線の創出・面の展開」の考え方に基づき、まちづくりを進めていきます。

①
「点」
の磨き上げ



まちと海の近さや港の風景、
夜景などの多彩な魅力資源を
アップグレード



<左下>photo: 大野隆介

②
「線」
の創出



エリアを結ぶ連続した
歩行者空間の創出等により、
魅力資源をつなぎ合わせ



③
「面」
の展開



公共空間の積極的な活用等により、
水際線とまちのにぎわいを連動させ、
都心臨海部全体を活性化



水際線の5つのエリアで、それぞれの特性を活かしながら魅力を高めるまちづくりを進めていきます。

臨港パークエリア

水際線随一の広さを誇る開放感あふれる場所であることを生かし、思い思いのスタイルで楽しめる緑地として、市民をはじめ観光客や隣接するMICE施設に訪れた人々も惹きつけるエリアへと進化させていきます。



①子どもから大人まで憩える空間の創出



②水際線へ誘う動線の強化



③滞在場所と歩行者動線の整備



④ビュースポットの設置

ハンマーヘッド周辺エリア

海に近接して商業施設や客船ターミナル、ホテルなどの施設が立地しており、グランピングやモーニングクルーズ、マルシェなど、水際線ならではの多様な体験ができるエリアへと進化させていきます。



①連続性のある歩行者空間の創出



②公共空間を活用したにぎわいづくり

※パース画像については、整備イメージとなりますので、仕様やデザイン、位置等は今後変更となる場合があります。

赤レンガエリア

年間を通して常に多くの人々にぎわう水際線随一の集客力を誇る場所に、水際線の象徴となる新たなグリーン空間などを創出することで、更に多くの人々が足を運びたくなるエリアへと進化させていきます。



①歴史に触れられる新たな魅力スポットとして再整備



②海の眺望を楽しめる空間の創出



③水際線の象徴となる緑とにぎわい空間の創出



④赤レンガパークと象の鼻パークの回遊性の向上

象の鼻エリア

山下臨港線プロムナードから日本大通りや大さん橋へとスムーズにアクセスできるようにすることで回遊を促進するとともに、象の鼻テラスのリニューアルなどにより、更に多くの人々を惹きつけるエリアへと進化させていきます。



①木陰の創出・回遊性の向上



②大さん橋方面へのアクセス強化

山下公園エリア

ベイブリッジや氷川丸を望む港の風景や、山下公園通りの歴史的な街並みなど、港町ならではの特性を生かし、多様な過ごし方ができる空間にアップグレードすることで、一日を通して横浜らしさを満喫できるエリアへと進化させていきます。



①象の鼻・赤レンガ方面へのアクセス性の向上



②港町ならではの過ごし方ができる空間の創出



③イベント広場の更なる活用

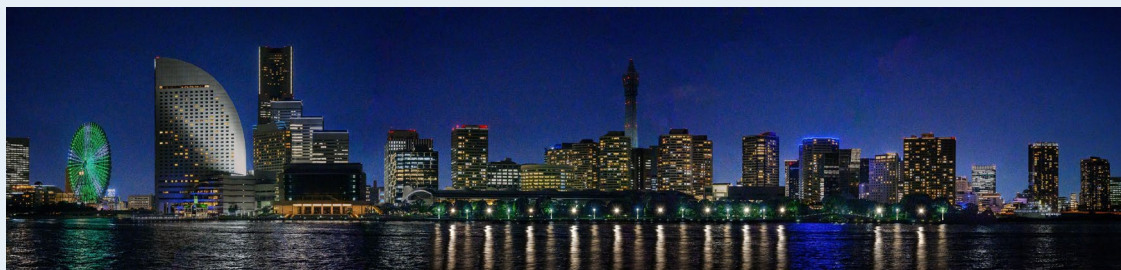


④山下公園と山下公園通りの一体感の創出

5 整備の方向性 ～5つのエリアのつながりの強化～

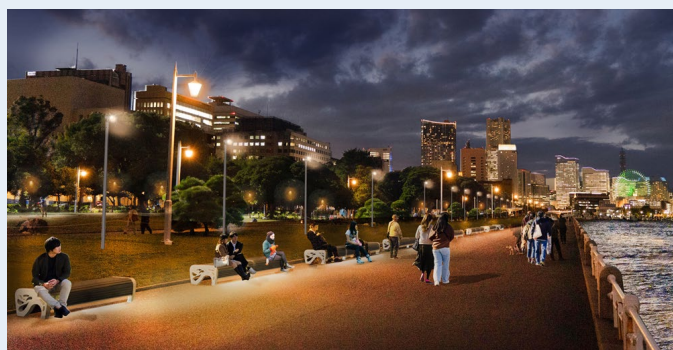
照明

世界の人々を惹きつける夜間景観を形成していくため、「海に映る光」、「場所にあった光」、「特別な光」により、横浜ならではの夜景を更に磨き上げていきます。



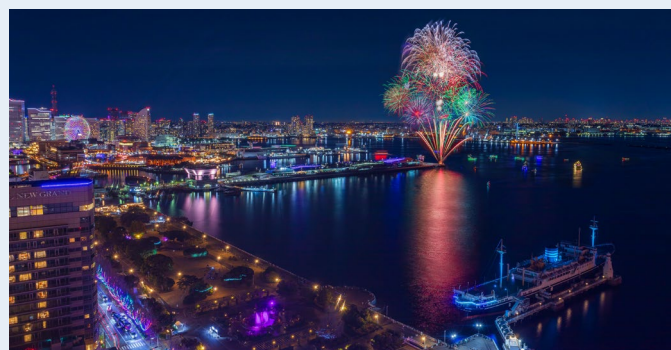
①海に光る光

水面に映る光を一体的につなぎ、水際線の輪郭を際立たせます。



②場所に合った光

エリアの特性に合わせた光の変化をデザインし、滞在を楽しむとともに、移動しながら変化を楽しめる光環境を目指します。



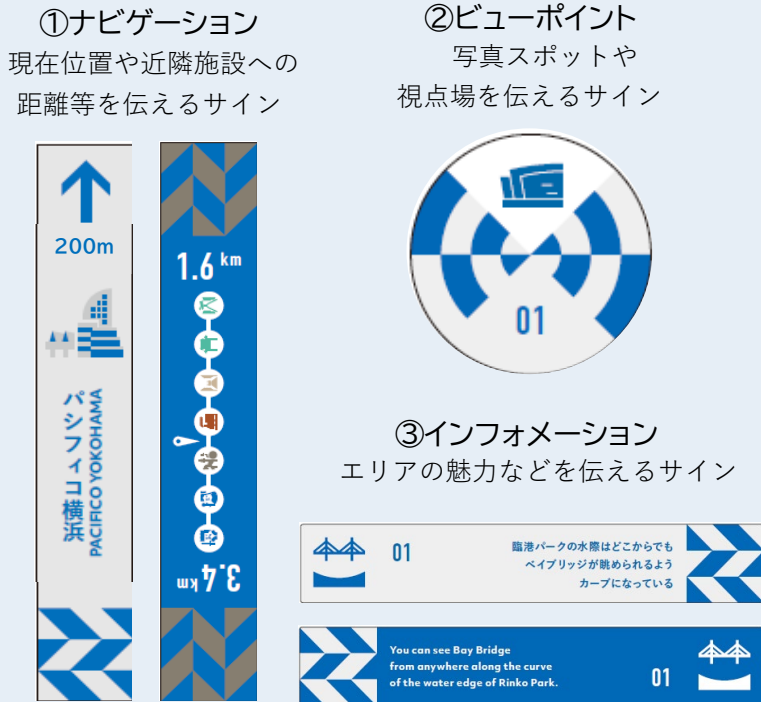
③特別な光

水際線全体の照明が一斉にカラーライティングすることにより、記憶に残る特別な光の演出を目指します。

水際線ルートサイン

水際線の連続性を生み出し、楽しみながら移動できるように「水際線ルートサイン」を設置します。

※イメージ



MARINE & WALK YOKOHAMA 周辺での設置イメージ

6 整備の方向性 ～水際線とまちのつながりの強化～

水際線とまちの更なる人の流れを生み出していくための環境づくりなどを行います。

横浜駅 ⇄ 臨港パーク

みなとみらい駅 ⇄ 臨港パーク



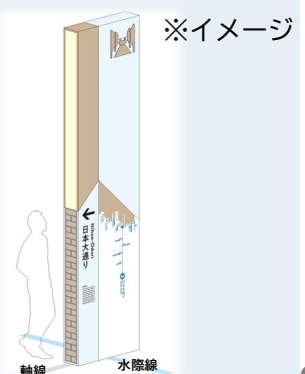
水際線へとつながる日常的なにぎわい空間の創出



海の眺望や花と緑を楽しめるにぎわい空間へとリニューアル

結節点サイン

水際線とまちをつなぐ軸線が交差する地点7か所に結節点サインを設置します。



素案の市民意見募集について

本編の閲覧方法

■ホームページでの閲覧

横浜市都市整備局臨海部活性化推進課
市民意見募集WEBページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/toshin/suisaisen/conceptplan.html>



■紙面での閲覧

【市庁舎】

- ・市民情報センター（3階）
- ・都市整備局臨海部活性化推進課（29階）

【各区役所（18区）】

- ・区政推進課広報相談係

意見の提出方法

提出期間

令和7年12月17日（水） から 令和8年1月26日（月） まで

①インターネット 入力フォーム

推奨

次のURL又は右の二次元バーコードから入力フォーム（横浜市電子申請・届出システム）へアクセスし、ご提出ください。

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/294121ec-8216-4be1-ba79-70722bf63b2c/start>



②電子メール

tb-rinkaikassei@city.yokohama.lg.jp

③郵送または持参 （当日消印有効）

〒231-0005

横浜市中区本町6丁目50番地10 横浜市府舎29階
横浜市 都市整備局 臨海部活性化推進課

※持参される場合は、平日 8:45～12:00、13:00～17:15 にお越しください。

④FAX

045-550-3905

②～④の場合、意見書の指定様式はありませんが、「住所（居住区まで）」「年代（〇〇代）」「素案へのご意見である旨」を明記の上、ご提出ください。

今後のスケジュール（予定）

【令和7年12月】（今回）

（仮称）水際線まちづくりコンセプトプラン（素案）策定
市民意見募集実施

【令和8年3月頃】

（仮称）水際線まちづくりコンセプトプラン（原案）策定

（仮称）水際線まちづくりコンセプトプラン策定

- 「お電話等でのご意見の受付」及び「ご意見への個別の回答」はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ご意見の提出に伴い取得した個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理し、ご意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認の目的に限り利用します。
- 頂いたご意見は、公表させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

横浜市都市整備局臨海部活性化推進課

令和7年12月作成

TEL：045-671-4863 FAX：045-550-3905

MAIL：tb-rinkaikassei@city.yokohama.lg.jp